

聖霊降臨節第22主日礼拝

2021年10月17日 午前10時30分

司会 出席役員
奏楽 奏楽奉仕者

前奏		
招詞		司会者
頌栄	21-85番	一同
交読	詩編 88篇	一同
聖書	使徒言行録 第13章44~52節	(新)p.240
祈禱		司会者
使徒信条	21-93番(4-A)	一同
讚美歌	21-487番	一同
説教	「異邦人伝道の光」	牧師
祈禱		牧師
献金		一同
	一困難にある人々への連帯を祈りつつ	
感謝		献金奉仕者
主の祈	21-93番(5-A)	一同
讚美歌	21-92番	一同
祝禱		牧師
後奏	(黙禱)	

一からだのご不自由な方はお座りのままでどうぞー

- 礼拝前は静かに心を整えましょう。
- 聖書にあらかじめ目を通しましょう。
- 祈禱中、礼拝堂への入場は待ちましょう。
- 礼拝後は、交わりの時を。

2021年度年間聖句

神がわたしたちを救い、聖なる招きによって呼び出してくださったのは、わたしたちの行いによるのではなく、御自身の計画と恵みによるのです。

(テモテへの手紙二 1章9節)

今週の祈り

- ・東日本大震災の被災者・被災教会のために。
- ・病や困難の中にある友のために。
- ・福野伝道所と吉川光太郎牧師のために。
- ・日本基督教団では毎月第3主日を「日本伝道の推進を祈る日」と定めています。全国の教会・伝道所が取り組んでいる課題を覚えて祈りを合わせましょう。(10/17~23日信徒伝道週間、~24日まで教育週間)

本日の集會

- ・10:20- 礼拝準備祈禱会
- ・10:30-11:30 主日礼拝
- ・11:30- 臨時総会

今週の集會

- ・聖研祈禱会 10月21日(木)10:30-11:30
雅歌5:2~6:3 (旧)p.1054
(聖研後、祈禱会では福野伝道所を覚えて祈ります)

次週の案内

降誕前第9主日礼拝 10月24日 10:30-11:30

- 司会 : 派遣神学生
- 交読 : 詩編 89篇
- 聖書 : 使徒 15章1~12節 (新)p.242
- 説教 : 「恵みによって救われる」 牧師
- 献金 : 献金奉仕者
- 奏楽 : 奏楽奉仕者
- 讚美歌: 21-390(主は教会の基となり)他

神の憩い 山田 晶

七日に一度、日曜日だけは、神様は我々に、特別な仕方御自分と共に在ることを望まれます。即ち日曜日だけは神様と共に日常の働きをやめよと命じておられます。我々にとって日曜とは、神の憩いに触れ、我々自身が日常の働きから離れて、神の憩いの中で憩うために与えられているのではないだろうか。ただ自分の憩いのことだけを考えると、この日曜日という空白をどのように楽に過ごすかとか、楽しく遊ぼうかとか、要するにその空白をどのように埋めようかということだけが我々にとっての問題となり、そこに悪霊につけこまれる隙も生じてきます。が、この日曜日の空白は、神の創造の背後にあり、その働きを包んでいる、いいようもなく深い、底知れない神の憩いに触れ、神と共に憩うために 神から与えられたものであると考えるならば、その「空白」の意味は、全然異なるものとなるでしょう。もう一つ…人間には地獄に行くほどの大きな罪を犯すことができるだろうか。人間の有限性というものから考えてみて、そんな大それたことはどんな人間にもできないのでは、という説があります。それに対して私はこう思う。人間は神から自由な存在として造られた故神の操り人形でなく、無限性が与えられている。地獄にすら落ちることもできる「責任存在としての人間」であると。我々を造り、昔も今も我々と共にいまし、我々が憩う時も笑う時・泣く時も、神は我々を常に変わらず見ておられる。

■ 集會報告

- 主日礼拝 10月10日(日)男3、女4、計 7名
- 聖研祈禱会 10月14日(木)男2、女2、計 4名

※ 当伝道所は 教会内外からの多くの方々の尊い献金によって支えられていることに心から感謝しています。